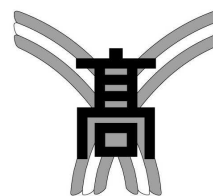


君の授業に乾杯。



【取組内容と日程が変更になりました】

久しぶりの委員会が先週月曜日に開かれました。休業措置の影響で、取組に大きな変更がありましたのでここで整理しておきます。前回の通信で書いた内容も掲載しています。



①授業改善研修会 6月19日(金) → 8月27日(木)に変更(50分程度)

(内容) 広島経済大学 教養教育部教授 胤森裕暢先生の講演

②公開授業研究会 *名称変更予定 11月19日(木) → 11月2日(月)に変更(90分程度)

(内容) 岡山大学教師教育開発センター 教授 高旗浩志先生の講演

公開授業(数学科・外国語科)および研究協議は中止となりました。日程変更+短縮授業ののち、放課後に講演のみ行う予定です。なお中止となった公開授業の実施教科はそのまま次年度にスライドさせます。広島市立高等学校公開研究授業との関連によるものです。

③教員対象AL型アンケート 実施時期: 第1回は5月→6月下旬、第2回は1月頃。

④生徒対象授業評価アンケート 実施時期: 第1回は5月→7月(期末試験前後)、第2回は1月頃。

⑤授業観察月間(10~11月)、A4指導案、授業観察カードは予定通り実施します。

これが最新版となりますが、状況が日々変化するなか、さらに変更する可能性は十分にあります。先生方には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ください。

【再開後の授業が不安ですが・・・】

学校再開後も、当分の間「生徒同士の対面での活動は禁止」となる可能性があります。授業の形態が最重要というわけではありませんが、これまで推進してきた協同学習に大きなブレーキがかけられたように感じています。



疫病退散

様々な制約がある以上、授業の方法も変えていかななくてはなりません。しかし最も重要なのは、以前からの継続課題である「生徒が主体的に家庭学習に取り組む工夫」だと思います。非常に難しいことではありますが。

一つのヒントが、多くの教科が緊急措置として準備された教材プリントや動画のアップロードにあります。しかしこの取組を継続するのであれば、生徒の閲覧環境や更新作業の負担も考えなければなりません。頻度や量にも交通整理が必要になるでしょう。

予断を許さない厳しい状況ですが、先生方と知恵を出しあいながら取組を進めていきたいと思っています。